

オリジナルフレーム切手

「2020東京五輪・パラリンピック競技大会」に向けたホストタウン事業の一環として、日本郵便株式会社と連携し、ホストタウンであることを記念したオリジナルフレーム切手を作成しました。「牧之原市×アメリカ合衆国」ホストタウンフレーム切手は、USAサーフィンとの交流や、2020東京五輪に出場予定の選手を載せたデザインとなっています。「牧之原市×中華人民共和国」は、友好都市として交流している都市の街並みや景観をデザインした切手となっています。



[販売場所] 市内郵便局
[販売価格] 1シート920円(税込)
[販売数] 各300シート(なくなり次第終了)
[内容] 84円切手×5枚

2020東京五輪・パラリンピック事前合宿として USAサーフィンチームの受け入れを計画しています

この事前合宿受け入れについては、大会組織委員会などが作成した「プレイブック」を踏まえた上で、受け入れマニュアルを作成し、新型コロナウイルス感染症対策に万全を期しています。

[期間]

2020東京五輪開会式前の5日間程(7月中旬)

[対象者]

USAサーフィンチーム16人(選手6人、スタッフ10人)

[感染防止対策](受け入れマニュアルに示された主要内容)

- ▶ チーム全員は、米国内においてワクチン接種を実施した上で入国する。
- ▶ 出入国時は空港検疫で検査を実施。その後、滞在中は毎日検査を実施する。
- ▶ 移動時や滞在時においては、不特定一般の皆さんと接触することのないよう、導線やフィジカルディスタンスを確保する。
- ▶ 選手の移動(行動)は宿泊施設と練習会場のみとし、練習会場は原則ウェーブプールとする。
- ▶ 受け入れマニュアルについては、遵守に伴う合意書を取り交わした上でチームに対策責任者を選任し、感染防止対策の徹底に万全を期することとする。



USAサーフィンチーム歓迎交流会(2018年9月)

ホストタウンで世界とつながろう

ホストタウンとは、「2020東京五輪・パラリンピック競技大会」に参加する国・地域の住民などが、スポーツ、文化、経済など、さまざまな分野で日本の自治体と交流することを通じて、地域の活性化などに活かすとともに、大会後も末永い交流を継続することを目的とした取り組みです。

本市は、サーフィン競技におけるアメリカ合衆国と中華人民共和国のホストタウンです。

問い合わせ 情報交流課 桑田優 ☎0040

アメリカ合衆国でつながる～ホストタウン連携プロジェクト～

自治体横連携事業アメリカオンラインシンポジウム



牧之原市からの応援メッセージ



「絆」をテーマにしたモザイクアート

2月21日に、内閣官房オリパラ事務局主催による「自治体横連携事業アメリカオンラインシンポジウム」が開催されました。

このシンポジウムにおける「連携プロジェクト」では、本市を含む、アメリカのホストタウン(全国18の自治体)による「応援リレー動画」や「モザイクアート」が披露され、各ホストタウンが一体となってアメリカを応援していることを発信しました。詳しくは「アメリカ合衆国でつながる!ホストタウン連携プロジェクト」のウェブサイトをご覧ください。



アメリカ合衆国でつながる!
ホストタウン連携プロジェクト
ウェブサイト

姉妹都市ケルソー市から絵本寄贈

3月2日に、姉妹都市であるアメリカ合衆国ワシントン州ケルソー市国際交流協会(ラドンナ・ページ会長)から、絵本5冊が牧之原市国際交流協会に寄贈されました。

寄贈された絵本は、ミルキーウェイクエア内の図書交流館「いこっと」に紹介コーナーを設けています。貸出も行っていますので、ぜひ読んでみてください。

ラドンナ・ページ会長(中央モニター内)とWEBでつなぎ、寄贈式を開催

